



白羽小児童が認知症を学ぶ

白羽小学校の6年生41人が9月12日、「認知症きつずサポーター養成講座」を受講しました。

誰にでも起こりうる認知症に関する認識と理解を深め、誰もが安心して暮らせるまちづくりが目的。講師を務めた「キャラバンメイト」の下村千里さん(下岬区)は、「認知症の人には優しく声を掛け、見守ってあげて」と話しました。

◀寸劇を用いて認知症について伝える講師のキャラバンメイト



御前崎小が子ガメ受け入れ

アカウミガメの子ガメ受け入れ式が9月14日、御前崎小学校で開かれました。

今回受け入れたのは、前日にふ化したばかりの子ガメ10頭。子ガメは、5～6年生によって約9か月間飼育され、来年6月ごろに放流される予定です。井碓聖空さん(女岩区)は「責任をもって大切な命を守ります」と話しました。

◀ウミガメ保護監視員から受け入れた子ガメを飼育小屋に移す児童



石川松代さん100歳の祝い

9月19日に100歳の誕生日を迎えた石川松代さん(合戸)に、柳澤市長から祝い状や花束が贈られました。戦後から約30年間、旧比木小学校や浜岡中学校などで教員をしていた松代さん。日常のできごとを俳句でつづることが趣味だといいます。

松代さんは「皆さんのおかげで元気に過ごせました」と感謝しました。

◀柳澤市長は「元気に長生きしてください」と話しました



環境美化活動が認められる

地域環境の保全および美化で顕著な功績があった者をたたえる環境大臣表彰「地域環境美化功績者」に選ばれた御前崎市花の会が9月21日、柳澤市長のもとを訪れました。石原すみ子会長(新野西)は「これまでの活動が認められて嬉しい。これからも続けていきたい」と話しました。同会は来年4月6日から開催される「2024浜名湖花博」への参加を予定しています。

◀「これからもきれいな花でまちを彩ってほしい」と話す柳澤市長



五穀豊穡と心願成就を祈願

遠州七不思議の一つであり、県無形民俗文化財に指定されている「桜ヶ池納櫃祭」が、9月23日に池宮神社で開催されました。

これは約850年続く奇祭で、本年は13人の氏子が奉納された40櫃を一つずつ桜ヶ池の中央へ運びました。観客は、赤飯が入ったお櫃が納められるたびに拍手し、納櫃を見守りました。

◀お櫃を桜ヶ池に納める氏子



鍛えた空手でメダルを獲得

空手の世界大会に出場した岩倉弘晶さん(東町)と、全国大会に出場した岩倉空凛さん(東町)、山下慎之助さん(早苗町)、岩倉凛緒さん(東町)が9月27日、柳澤市長に大会結果を報告しました。

世界大会には約40カ国から代表選手が出場。4人は牧之原市を拠点とする新風館で週3回、稽古を重ねています。弘晶さんは「メダルを3つ持ち帰ることができてうれしい」と喜びました。



ソフトボール全国大会2位

7月29日から8月1日にかけて三重県で開催された「第37回全日本小学生女子ソフトボール大会」で準優勝した掛川桔梗女子ソフトの樽林千賀さん(大山)が9月29日、柳澤市長に大会結果を報告しました。

千賀さんのポジションはサードで、打順は7番。「最後まであきらめずにみんなで戦い抜きました」と笑顔を見せました。

◀柳澤市長は「これからもソフトボールを続けて」と応援しました



▲柳澤市長は「これからもいろいろな大会で優勝を目指してほしい」と応援しました

- ▶第14回 SKIF(国際松濤館空手道連盟)世界大会
岩倉弘晶さん
-65kg級 優勝、無差別級 3位、団体組手 優勝
- ▶第43回全国空手道選手権大会
岩倉空凛さんⓄ 小学6年生個人組手 2位
山下慎之助さんⓄ 同上 3位
岩倉凛緒さんⓄ 小学生7級以下個人型 優勝
小学4年生個人組手 3位